



平成19年 3月15日

8面	7面	6面	5面	4面	3面	2面
視点・声・ペンペン草	こどもの詩・俳句・短歌	なかまたち・すぼと・スポーツ・情報	まつかわ大学・埋蔵文化財	福祉を考える集会	健康を考える集会	生田地区芸能文化祭
						高齢者講座
						古町・上新井家庭教育講座

まつかわ百景

⑩

「西山の座禅草」

例年なら周辺に雪が残っているが、今年はもうすっかり春山の様相を呈している。



平成18年度スタートした『まつかわ大学』が去る2月25日の第4回講座をもって第1年次を終了しました。

当初の予想を遙かに越える170余名の受講申し込みがあり、多いときで211名。少ないときでも80名と、それぞれ多くの方が熱心に受講されました。

『まつかわ大学』の特色は行政と民間団体それぞれの代表者による運営委員会を組織し、この委員会での講師の選定から当日の運営一切を協力しあって進めている点です。他町村のいくつかにも〇〇大学と銘うった講座の開かれています。ところがありますが、ほとんどが行政主導によるものに比べて『まつかわ大学』のよさがここにあります。

また、初年度であったことから、講師の選定、会場準備等に不十分な点もあったわけですが、講座ごとに行ったアンケート調査結果などを参考にしながら、多くの皆さんにより親しまれる大学となるよう工夫してい

主張

『まつかわ大学』 1年次をふりかえって

くことが今後の課題です。また、受講生の大半が中・高齢層であることから、20〜40代の方々にも、生涯学習の場として意義あるこの大学に、多数参加していただきたいという願いも大きいわけです。次年度講座

座には、全国的にも名高い医師鎌田實氏や今年度極めて好評であった演劇宿の講演なども予定していますので、ぜひ若年層の方々からの申込みもお待ちしております。

この1年次を振り返ったとき、じつくりと聴き入るそして楽しむ熱心な受講生の皆さんが、この大学を支えているのだという感を強くしました。そしてまた、講師との具体的折衝にかなりの労を費やしてくださった事務局と、会場作りや後片付け等、陰でご苦労

くださった運営委員の皆さんのおかげでよい成果を挙げ得たものと、深く感謝申し上げる次第です。

まつかわ大学運営委員会

委員長 松浦 操

劇団「赤門」は3年前に老人大学を卒業した第24期生により結成。現在は36名が活動し、うち5名が松川町民である。



大正琴演奏では、殖生の宿、荒城の月といった名曲に合わせ受講生が合唱

2月15日、中央公民館大会議室で第4回高齢者講座が開催された。今年度の講座のトリを飾った劇団「赤門」の多彩な芸の数々。会場を埋めた60名以上の受講者の笑いとお感嘆の声があふれる講座となった。



さらに
回転!



回転!

回転!

「虫歯は1本もありませんが
総入れ歯です」2人の痛快トークに
会場は大爆笑



第4回高齢者講座 劇団赤門



Gondolaの唄・北の国から
...なつかしいハーモニカの音色

座長による皿・コマまわし



「玉子出ま〜す」「お花も出ま〜す」



「ご覧あれ!人体浮遊の摩訶不思議!!」



拍手喝さいの受講生のみなさん



「♪さては南京玉すだれ〜♪」



すこぶるフレッシュな団員のみなさん

古町家庭教育講座 「世界ちゃりんこ一人旅」(夢をかなえる旅)

古町地区公民館 社会部長 中島浩之

去る2月15日、古町コミュニティセンターにて、島崎敏一さんを講師に招いて古町家庭教育講座を開催しました。演題は『世界ちゃりんこ一人旅』(夢をかなえる旅)。

島崎さんは、2002年に北米大陸を自転車で縦断。帰国後、中川村で自転車の楽しさを伝える活動を始められます。その後2005年〜6年、ユーラシア大陸2万1千km21ヶ国を1年7ヶ月かけて自転車で横断。この旅の体験を通じて、自転車で旅をする楽しさ、目標を目指すことの素晴らしさを、多くの子供たちに知ってもらおうと日々活動をされています。今回の講演は、北米大陸縦



世界を周ったチャリンコです

断、ユーラシア大陸横断での出来事を、現地の写真や持ち帰った貴重な品々を紹介しながら楽しく聞かせていただきました。そのお話の中には、島崎さんが現地での目当たり

した、ゴミ問題や異常気象など環境破壊に関する現状や、各国の子供たちを取り巻くさまざまな社会環境など、我々が頭を抱えさせられる様な事柄もたくさんありました。地域や国内はもちろん世界中の子供たちの将来の為、今何を我々がやらなければならぬのかを考えさせられる講演会となりました。

上新井家庭教育講座

上新井地区公民館 社会部長 湯沢健司

2月10日土曜日夜7時より、上新井地区公民館2階大会議室に於いて上新井家庭教育講座を開催致しました。

講師に中央公民館館長の松村直彦氏をお招きして、昨年に引き続き親子で作る工作教室をお願いし、「牛乳パックで作るつばめ飛行機」を作る事になりました。

地区館部員と育成会役員で、サポートをする為に、事前に松村館長にどのような物を作るのか教えて頂きました。大人からすれば、作ってみると意外と簡単な物でしたがビュンビュン回してみると音がし、ちょっとだけ子供の頃にかえったような楽しい気分

になりました。

事業を開催するといつも心配するのは、当日は一般の参加者が何名来てくれるか、全然人が集まらなかつたらどうしようかと不安でしたが40名以上の参加者があり、その半数が子供だったので大変有難く又、嬉しく感じました。製作の



牛乳パックをツバメのように切るところから工作開始。親と子が一緒になって「モノづくり」の楽しさを体験した。

生田地区芸能文化祭

公民館生田地区協議会 主事補 松下 聡

2月11・12日に生田地区芸能文化祭が開催されました。展示の部は生田共同福祉施設内において、7団体の皆様の花・手芸・写真の他、生田の歴史(写真で見ると今昔物語)では、三六災害・橋の建設・校舎など貴重な写真が展示されました。また1月21日に広島で行われた、第12回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会

難うございました。来年はどんな内容になるかわかりませんが、今年同様多くの方の参加をお待ちしています。

で準優勝をし、タスキをつないだ、間沢の矢野圭吾君と峠の松下巧臣君の記事や写真が展示され、皆さんの関心が集まっていました。

演芸の部では新たに3つの団体と個人が出演してください、会場を盛り上げてくれました。ベンチャーズ大好きな高校1年生の4人グループ、『ザ・スクーターズ』。ベンチャーズの曲を6曲演奏していただきました。続いて中央小学校4年1組の皆さんによる、ダンスと合唱を発表していただきました。そして飯田市の西本一郎さんに、みんなが口ずさめる懐かしい曲を、ハーモニカで演奏していただきました。

味の店コーナーは、女性部の方々に前日から仕込みをしていただき、演芸の部と同時に開店しました。味は毎年評判良く、昨年より多く用意した豚汁・おでん・五平餅は早い時間に売り切れとなり、大盛況でした。

最後に、今年の生田地区芸能文化祭が盛大に開催できました事に深く感謝を申し上げ、来年も今年以上に盛大にできますよう、皆様のご参加をお待ちしております。

健康を考える集会



健康への取組が明るい未来をつくる

第31回健康を考える集会在2月3日に行われた。健康に関心のある町民が、ステージ発表に熱心に耳を傾けていた。テーマは「みんな健康で安定した暮らしを目指して」と題し、いくつかの発表が行われた。「中学生の血液検査から、今後の生活を考えてみました」「各地区の健康状態から自治会単位で健康について学習会を開きました」「健康診断の検査項目に異常が見つかり二次検査を受けました。結果は？」「これからの保健事業の展開(高齢者医療確保法)」「バランスボール・水中運動教室、今のうちから健康貯金」半日という時間の中で、内容盛り

だくさんの発表があった。ステージ発表の1つ「中学生の血液検査の実態から」では、尿酸値が7.0以上ある生徒が10%であった。食生活の中で食の嗜好が菓子・パン、肉、インスタント麺、揚げ物等多く、食事以外におやつとしても多く食べられていた。コレステロール200以上の生徒も18%おり、運動不足、野菜不足、夜食の摂取、夜遅くの夕食が原因ではないかと思われた。今回の検査は、名古屋大学によって行われたが検査結果等から「命の教育」の必要性が急務になつてきているようだ。「キレる子」凶悪化する少年犯罪。いじめによる自殺等、子供の問題が大きく社会問題となつている今原因の1つは食に関係ある事が、わかつてきている。遅い就寝、偏食、運動不足等基本的な生活習慣の崩れ。正しい生活習慣、バランスのとれた食事、適度な運動をする事で、健やかな心身の育成になり、命を大切にすると考え、指導を模索している。今の日本

福祉を考える集会

の食生活が、若年層に反映しているのではないだろうか？ 今回の集会で、「健康」であるうちは過信して無理をしてみよう。危険信号が出て初めて気をつける。しかし、本来

2月17日役場2階大会議室にて、第25回福祉を考える集会在開催された。今回のテーマは

**みんなの心に
ボランティア**

町内の様々な立場の人々が集い、熱心な聴講と討議を行った。



手話をともない行われた発表

今回の狙いの1つは、少子・高齢化、核家族化の進行、人間関係の希薄化、福祉に関する

は健康である事に感謝しながら、気をつける事が大切であると感じた。集会に参加し健康について考えてみてはどうだろうか？

制度の変化、価値観や生活様式の多様化などを背景に、よりよい社会を作るために不可欠となつてきたボランティア活動について、その原点や課題を見つめ直し、今後の方向性や可能性を考えること。2つ目は、「団塊の世代」の大量定年退職が始まる今年、ボランティアを始めてみたい方々の後押しをしたいということ。

社会福祉協議会の地域ボランティアセンター所長の発表で「ボランティアっていったい何？」とその原点・理念を振り返つた後、町内各地で実践されているボランティア団体・個人が発表を行った。①趣味や特技を生かす②身近な助け合いや、地域をよくする③企業も取り組む：ボランティアという高齢者や障害者に対する介助とか清掃活動がまず連想されるが、私たちの日常生活



心をこめて作った品々が販売された



語らいの中で明日への希望がわいてくる

活の中にも「ボランティア」として役立つ能力や機会が眠っているということを実感させられる。

発表に続いてのグループ討論では、熱心な意見交換が行われた。

結びに、各団体の活動の経過報告と全体会が行われた。

参加者は、今後の活動に向けての起爆剤を得たようだ。私たちの町におけるボランティアの更なる発展を期待したい。

平成18年度

まつかわ大学 第IV講座

「笑いは百薬の長」

伊藤隆一先生



講師の伊藤隆一先生

「旅は道連れ世は情け」のことばどおり見ず知らずの人達と楽しく話して行く方が、一人でポツンと座っているよりずっと良いという。

伊藤先生の職業がら、健康に関する質問も多く、ある時テレビ出演したおり「休肝日は必要か？」と聞かれ、「良い事なのでぜひ実行しましょう」と答えたところ家でご家族の方から大変叱られたという。家では実行しないくらいお酒が好きな先生いわく「酒は百薬の長。しかし過ぎれば害になる」

伊藤先生は落語をされる位

伊藤先生は順天堂大学を卒業されたあと多方面で活躍され現在に至っておられるが、「直志亭^{なおしでい}かんた」という高座名で落語もされている。というところで第1部：講演会、第2部：落語の2部構成ですすめられた。

伊藤先生は日本全国に行かれていてその旅も電車でする方が楽しいとおっしゃる。



気分をかえてさあ一席



思わず笑顔がこぼれます

の方なのでお話がうまく、ひとつひとつの話題に落語のようににオチがつき会場には笑いが絶えなかった。まさに演題の「笑いは百薬の長」を実践されているようだった。

第2部の落語は衣装も和服に着替え出陣して座布団に座って話すところは玄人はだしのすばらしいもので、会場には大きな笑い声と拍手が続いていた。

笑いは害の無い治療薬である、と伊藤先生が言われるように毎日一回大きな声で笑ってみよう。もしかしたら寿命が一日のびるかも：しれない。

松川町の文化財

(336) 埋蔵文化財 (234)

松川町の中世城館跡

桃井城(8) — お建さま伝説5 —

教育委員会 酒井幸則

部奈には伝わってこなかった「お建さま」伝説ですが、古くは竹村浪の人・村沢武夫さんらが、平成4年には福与の久保田豊さんが物語にしました。

「時の旅人」では下清内路煙火有志会の協力のもと、久保田さんの物語を原作に番組を作った折、煙火有志会の皆さんから「お建様の故郷とされる部奈のお宮に手作り花火を奉納したい」という話が持ち上がり、一昨年の10月にそれが実現しました。

下清内路建神社とお建さまの関わりを知った部奈の皆さんの多くは、お建さまの故郷である部奈の地に建神社を分祀し、お祀りしたいと考えました。

下清内路の皆さんとの交流の中、区の総会で建神社の分祀が決定し、区民のアンケートでその位置も桃井城跡と決まり、区民の浄財によって立派な社が建てられ、3月6日に下清内路・部奈の両地区で

分祀祭が執り行われ、650年ぶりにお建さまは故郷へ帰ることが叶いました。

桃井城のお建さまはあくまでも伝説の域を出ませんが、忘れられつつある昔の城跡が地域の拠り所となり、地域の宝(文化財)として新たな可能性が見出されたことは素晴らしいことです。またお建さまが縁で下清内路と部奈の人々の間に交流が始まったことも大きな喜びです。分祀が叶ったのも、両地区の交流の賜物です。



桃井城跡に分祀された「建神社」

暖かい春にスポーツ 体を動かそう!!

部奈地区 冬季スポーツ大会

1月21日(日)に部奈地区公民館主催の冬季スポーツ大会が、ソフトバレーボールが福与体育館で、今回初めて行われたニュースポーツのフロッカラーが部奈文化伝承センターにて開催された。
結果は次のとおり。

- ソフトバレーボール男子
 - 優勝 第4自治会
 - 準優勝 第1自治会
 - 3位 第2自治会
- ソフトバレーボール女子
 - 優勝 第1自治会
 - 準優勝 第2自治会
 - 3位 第3自治会
- フロッカー
 - 優勝 第4自治会
 - 準優勝 第3自治会
 - 3位 第2自治会

名子地区卓球大会

1月28日(日)に名子地区公民館主催の男女別自治会対抗

卓球大会が町民体育館にて開催された。
結果は次のとおり。

- 男子
 - 優勝 下垣外北部
 - 準優勝 名子中部A
 - 3位 北垣外A
- 女子
 - 優勝 名子北部B
 - 準優勝 城北
 - 3位 北垣外A

上片桐地区 冬季スポーツ大会

1月28日(日)に上片桐地区公民館主催の男女別綱引き大会が北小学校体育館にて開催された。
結果は次のとおり。

- 男子
 - 優勝 大沢北部
 - 準優勝 諏訪形
 - 3位 上町
- 女子
 - 優勝 大沢南部
 - 準優勝 諏訪形
 - 3位 大沢北部

古町地区卓球大会

2月4日(日)に古町地区公民館主催の自治会対抗卓球大会が町民体育館にて開催された。
結果は次のとおり。

- 優勝 古町北部
- 準優勝 古町中部
- 3位 古町東部

全国小学生 ソフトテニス大会 長野県予選会

2月4日(日)に松本市南部室内庭球場で全国小学生ソフトテニス大会の長野県予選会が開催され、3月29〜31日に千葉県で行われる全国大会への出場を決めた。
結果は次のとおり。

- 4年生以下男子の部
 - 優勝 宮島一輝・遠山健太 (中央小4年)
 - 3位 中島将吾・古屋敷治輝 (中央小4年)

上大島地区 バドミントン大会

2月11日(日)に上大島地区公民館主催の自治会対抗バド

ミントン大会が町民体育館にて開催された。
結果は次のとおり。

- Aブロック
 - 優勝 原田 梅
- Bブロック
 - 優勝 原田 竹
 - 準優勝 原田 桜
- Cブロック
 - 優勝 増野 A
- Dブロック
 - 優勝 増野 C
 - 準優勝 増野 B

地区館対抗 弓道大会

2月12日(月)に第31回地区館対抗弓道大会が町営弓道場にて開催された。
結果は次のとおり。

- 個人
 - 優勝 宮下徳男(上新井)
 - 準優勝 野牧初彦(名子)
 - 3位 岩村和夫(上新井)
- 団体
 - 優勝 上新井チーム (宮下真人・宮下徳男・岩村和夫)
 - 準優勝 上片桐チーム (白田和足・外松祥子・南島 健)

公民館部員募集

3位 名子チーム (菅沼 隆・中島博登・野牧初彦)

中央公民館では現在、松川町にお住まいか、または勤務されている社会人を対象に、一緒に活動してくれる部員を募集しています。公民館部員は社会部・体育部・編集部の3部に分かれており、自分にあつた活動を行うことができます。部員として委嘱を受けると、各部それぞれの年間計画に基づいて活動を行います。また、各部毎に積極的に交流活動を行っていて、活動の中で得られる「繋(つな)がり」はあなたの大切な財産になることでしょう。公民館活動を通じた地域の交流の中で、この時代の中であなたの「なにか」をつかんでみませんか。なお、活動に対し若干の手当は支給されます。これまでの経験は問いません。公民館では意欲のある「あなた」のご応募をお待ちしております。お問合せは松川町中央公民館(TEL36-2622、FAX36-6620)まで。お気軽にお問合せください。



体力づくり、仲間づくり

体協バレーボールクラブ



毎週水曜日の午後7時30分から2時間、福与体育館に元気な声を響かせる「体協バレーボールクラブ」の皆さん。20代、30代の女性が集まり、ウォーミングアップ、パス、アタックなどの練習に続き、最後はミニゲームで汗を流します。同じく体協の「母親バレーボールクラブ」との合同練習の時は、さらに熱のこもった2時間に。

「運動する機会が少ないので、週1回の練習日は思いっきり体を動かすようにしたい時間です。体力づくりももちろんですが、仲間づくりもできてとっても楽しいです」と話す代表の鈴木真里子さん。毎年12月に熱戦が繰り広げられる「MTV杯バレーボール大会」は同クラブが主催し、多くの参加チームを募る活動もしています。現在、新しいメンバーを募集中。「初心者も大歓迎です。一緒に気持ちのよい汗を流しましょう！」とメンバーのみなさん。問い合わせは中央公民館へ。

平成18年度上片桐地区公民館運営研究会が2月18日(日)上片桐公民館で開かれた。開会后、分館長・主事部会・社会部会・体育部会の3分科会に分かれ活動内容や反省などについて意見交換をした。

すぽと

平成18年度上片桐地区

公民館運営研究会

「とハッキリわかるようにした方がよい。」

○社会部会

花いっぱい運動では花と草の区別がつきにくい。今後、花の事を知っている人がいると良いのではないかと文化展では、初めての演芸祭

夏季スポーツ大会は年齢天候に関係なくできるものを。運動会のマラソンなどは交通整理に協力者を求めたい。

冬季スポーツ大会に子供たち

今年分科会ごとに進めたためスムーズにはこび、部会ごとの意見交換も活発に行われ内容の濃い研究会となったようだ。

こぶしの詩

つくし

中央小4年

岡田稜太

土の中で春を待ち春になったらよきによきと生えてくるつくしの大群やってくる

リコーダー

中央小4年 宮下忠法

リコーダーははずかしがりやさんいつもふくろの中に入ってるリコーダーふくといい音がきこえるリコーダー音楽の時間にならないとずっとふくろの中にかくれてる

俳句

山田正歩

ダムのは非くるりと変り山笑ふ
子の背丈親を越えたり日脚伸ぶ
せゝらぎに頷き合いて猫柳
暖かや森も鳥もうずうずと
休耕地廃園無念草萌える

短歌

池田美幸

冬がこいのワラをおしのけ伸び立てる水菜緑に暖冬の二月
羽子板の加賀友禅の深き色初春の陽受けてなお深みゆく
雪明けの陽のさしくれば空に向く梨の枝々光集めぬ
遊びいる幼の髪を吹き分くる今日
日の南風みなみに背を押されいく
白き息ぶあぶあと吐き幼な子は大道芸の不思議を話す

声

おやつ作りに参加して

白井美奈

月に2回行われている『家族で遊ぼう』へは、1才と3才の2人の息子と一緒に、参加させていたっています。今回は、おやつ作りとの事で、子供より、私の方が楽しみで出掛けました。

で焼くだけのものなのですが、子供とやると、こねすぎたりこぼしたり…。大騒ぎで焼きました。(大騒ぎしたのは親だけで、子供達は楽しそうにこぼしていました…) いよいよ焼き上がりました。

当日は、ライスお焼きを作りました。小麦粉と牛乳を混ぜた中に、ネギ・ごはん・みそを入れて、ホットプレート

皆、同じ材料のはずなのに、色が濃かったり、薄かったりと、色々な物が出来ました。食べ終わって、「結構、おい

町の古民具 ③〇 手動式消火ポンプ

下部を水の中に入れ、取っ手を上下させて放水する。



しいね」と私「先生の作ったりんごホットケーキの方がおいしい!!」と息子。各々に、おいしい思いをして帰りました。その日の夜、布団に入ってから、「お母さん、今日は楽しかった。」と息子が言うので聞いてみると、「友達とたくさん遊べてよかった」と言っていました。又『家族で遊ぼう』へ連れて行ってあげようと思った母でした。

節分祭、迫力ある「鬼」

上新井地区公民館 渡辺克志

子供たちの思い出作りと、地域活性化を目的に、昨年初めて行った上新井の節分祭。第1回目という事で、やり方や段取りの検討に苦慮し、100円ショップで購入した鬼面をはじめ、手作りの衣装で上新井の子供たちを脅かし、また泣かせた事がまだ生々しく記憶に残っています。

という上大島の鬼を視察に行き、その迫力を体験してきました。

節分祭当日、準備や段取りもスムーズに進み、6匹の鬼ものびのびと子供たちを脅かし泣かせる事ができました。まだまだ改善の余地もあり、鬼ももっと進化しなくてはいいけれども2年目の節分祭は大成功に終わりました。



こわい鬼がやってきた!!

草

最近、公共の場からの金属類の盗難事件が増えている。電線や標式、公園の車止め、火の見櫓の半鐘等…。電線がなくなると電気が止まったら不自由だ。ドライバーに情報を知らせる道路標識が失なわれたら事故の原因になりかねない。公園で遊ぶ子どもや御年配の方を自動車の危険から守っている車止めが無かったら？火災や水害等の非常事態に打ち鳴らすべき半鐘が無かったら？人命に関わる重大な損失だ。笑い事ではない。

我々住民が支払った利用料金や税金によってこれらの公共物は作られている。盗んでいく不届き者ばかりが利益を得、善良な住民が不利益どころか命の危険に晒される。何か具体的な防止策はないだろうか？

私事であるが、先日職場の駐車場で車上荒らしの被害にあった。幸い、財布等貴重品は別に置いていて無事だったが、公民館編集部での活動をつづけたファイルや、愛用の眼鏡・日用品を盗まれた。被害額は一万円以内だが失われた思い出の品はお金には変えられないモノばかり。2度と被害にあわないよう、一層の用心をしたい。

三島真理子

公民館報
「まっかわ」
第 521 号
平成19年3月15日

発行所 松川町公民館
責任者 松村直彦
編集人 公民館編集部
Tel 36-2622
e-mail: ckouminkan@matsukawa-town.jp
飯田市上郷黒田121
印刷所 龍共印刷(株)